

静岡県西伊豆町

課題

- 人口流出・少子化・高齢化・過疎化の急速な進行
- 主産業である観光業の低迷と伝統的な産業の衰退
- 農地・山林の荒廃



調査事業の概要

■ 西伊豆町における地域資源調査

西伊豆町に賦存すると考えられる再生可能エネルギー、今後の地域活性化に資する歴史・文化的側面からなる無形の資源、地域の産業や生産物などを客観的データに基づき整理した。

■ 行政的・社会的、資金的障害等を踏まえた今後の方向性

西伊豆町の内側からの視点で、地域主権型社会構築に向け、行政の各部門メンバーによるワークショップ及び地元の住民・事業者等へのヒアリングを行い、地域資源の抽出と再評価を行った。地域資源活用に向けての課題を整理し、取り組むべき方向性と具体的なプロジェクトの展開方法について検討した。

また、地域の振興につながる、クリーンエネルギーの活用により新たな事業を創出可能なプロジェクト抽出の方向性を示した。

(イメージ図-1)

■ マーケティング調査

地域資源を有力な観光資源として活かすため、地域産である「ところてん」「塩鯉」における魅力のポイント、優位なポイント、また課題を把握するため、最大消費地である都内のレストランにてマーケティング調査を行った。



実現を目指していく地域のイメージ

- 地域の資源(人材、自然、温泉、歴史遺産、クリーンエネルギー等)を活用した、魅力あるまちづくり
- 体験型観光の振興による、「滞在型」観光客の増加を図り、雇用機会の増加と人口流出の抑制

対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

- ・個別事業者あるいは、個々の団体が振興に向けた取り組みを実施
- ・B級グルメ(イカ墨焼ソバ)など、西伊豆においてもある程度の成果有り
- ・地点型観光など、食、体験を重視した対策を考慮

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

■ 現状

- ・情報整理により、西伊豆町には海側だけでなく山側にも潜在的な可能性のある地域資源が多く見出された
- ・各資源が有機的に関連して成立していることも見出される
- ・地域資源を支える「人」の活動も見出される
- ・資源の顕在性・情報発信性が脆弱である。

■ 対応策(方向性の設定)

- ①「地域資源を活用した魅力あるまちづくり」を共有理念として、地域の目指す方向性を再構築する。
- ②「西伊豆町の原点は豊かな自然」のコンセプトを大切にする。
- ③地域資源の魅力を引き出し、「クリーンな観光地づくり」を目指す複合型ツーリズムを推進する。
- ④地域連携により「上質な観光産業の育成と振興」を目指す。
- ⑤「地域の住民、事業者を巻き込んだ事業展開、活動を支える仕組みづくり」を構築し、着実なプロジェクトの運営を行う。(イメージ図-2)

<今回の調査により得られた新たな課題>

西伊豆町民も地域課題を認識するものの、実行に躊躇している。地域共通の目的、方向性の打ち出しが不足であり、実行に向けてのリーダー、組織が不在であり連携推進に障害となっている。

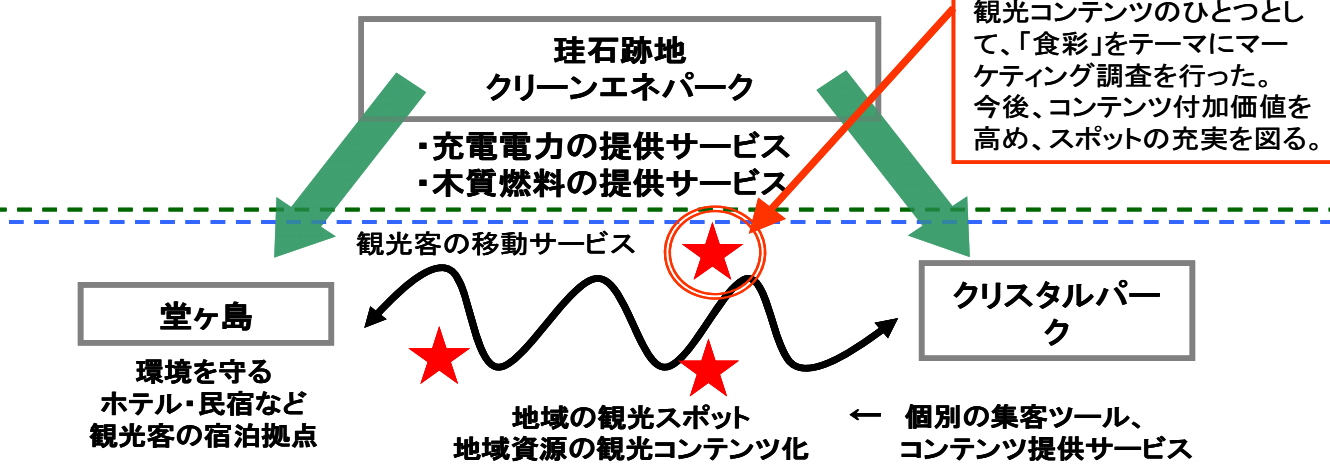
イメージ図-1

今後の展開に向けたプロジェクトの方向性

- ・地域資源を使って守るクリーンエネルギー化と集中的利用による観光拠点化
- ・EVを活用した観光ラリーによる移動促進
- ・地域情報の提供による観光客の誘導と収益化

クリーンエネルギー活用サービスプロジェクト

目的：地域の自然を維持し、観光に環境という新たなコンセプトを付加する。
 なお、地域のクリーンエネルギーを観光に利用することで、クリーンエネルギーの利用の最大化を図り、事業採算性の確保を行う。



ネットワーク型カラーツーリズム

目的：地域の個性豊かな観光コンテンツを希少価値として付加価値化し、これらをネットワーク化することで、地域全体の統一観光イメージを創出する。
 なお、これにより、地域のクリーンエネルギー並びに個々の観光資源の最大利用を図り、地域経済の底上げなどによる地域活性化を行い、自立的な地域を運営する。

イメージ図-2

西伊豆町が目指す方向性

- ・恵まれた地域資源を活かし、観光業の再生・活性化と、新たな産業創造
- ・相互連携による地域産業全体の底上げ
- ・魅力あるまちづくりの共有理念としての展開

